

2012年12月 27日

「心の復興音楽基金」御中

石巻げんきコンサート実行委員会 委員長 中村 伸
東日本大震災遺児支援かんがるーの会 代表 小林美恵子

被災地訪問コンサート実施報告

下記の通り東日本大震災被災地訪問コンサートを開催致しました。ここにご報告申し上げます。

記

石巻げんきコンサート

日時：11月11日（日）14：30～15：30

会場：石巻市立大街道小学校 体育館

対象：石巻市民 約300名

学校訪問コンサート1

日時：11月12日（月）9：30～10：20（第2校時）

会場：石巻市立住吉中学校 音楽室

対象：2年生全員約100名

学校訪問コンサート2

日時：11月12日（月）12：45～13：15（お昼休み）

会場：宮城県立石巻好文館高校 体育館

対象：生徒約100名 先生方約10人

主催：石巻げんきコンサート実行委員会／東日本大震災遺児支援「かんがるーの会」

後援：東京みやぎ石巻圏人会

目的：東日本大震災により大きな被害を受けた石巻では、1年半を経た現在なお仮設住宅に暮らす方々も少なくなく、市街地は更地が目立ち寂しさを禁じ得ません。子供達にも大人の方々にも生の音楽を楽しんでいただき、音楽の力に依って少しでも元気を取り戻すよう願ってコンサートを開催しました。

演奏者：清塚信也氏（ピアノ）・小林正枝氏（ヴァイオリン）

同行者：割田康彦氏（清塚氏マネージャー）

曲目：ショパン／英雄ポロネーズ・ノクターン ガーシュイン／ラブソディー・イン・ブルー
リスト／愛の夢 久石譲／菊次郎の夏 バッハ＝グノー／アヴェ・マリア
マスネ／タイスの瞑想曲 モンティ／チャルダッシュ ピアソラ／リベルタンゴ

■ 経費報告

交通費：東京⇄石巻	14,540円×2（往復）×2名	58,160円
	11,430円×2（往復）×1名	22,860円
	計	81,020円

宿泊費：9,000円×2名 18,000円

石巻グランドホテル（宮城県石巻市千石町2-10）

*小林正枝氏はホームステイ利用

ピアノ調律代：15,000円×2箇所	30,000円
18,900円×1箇所	18,900円
計	48,900円

大街道小学校・石巻好文館高校／石巻サルコヤ楽器店 井上晃雄氏

住吉中学校／サンリツ楽器石巻店 遠藤信和氏

チラシ印刷は主催者負担

合計	147,920円	うち、心の復興音楽基金からの支援額	142,580円
----	----------	-------------------	----------

中村 伸
小林 美恵子

コンサート報告レポート

■石巻げんきコンサート 11月11日（日）14：30 大街道小学校体育館

2時30分、石川英子さんの柔らかな声の司会でコンサートが始まりました。中村伸実行委員長の挨拶の後、ピアニスト清塚信也氏が登場し、楽しいトークとともに超絶技巧の演奏が繰り広げられました。ヨーロッパから駆けつけて下さったヴァイオリニスト小林正枝氏の演奏が加わり、お二人の演奏は予定の1時間をはるかに越え、曇り空の下、石巻市立大街道小学校に集まった皆様に溢れる元気を贈って下さいました。



コンサート終了後、サインと記念撮影の長い列が続き、とても楽しい「げんきコンサート」でした。12時前からお待ち下さったお客様、お子様も静かに演奏を聴いて下さり、300名もの方がお集まり下さった事に感謝いたします。

■学校訪問コンサート1 11月12日（月）9：30 石巻市立住吉中学校音楽室

石巻市立住吉中学校音楽室での出張授業に2年生100名が参加下さいました。

清塚信也氏も小林正枝氏も卓越した技術の成果には、たゆまぬ努力の継続がある事を話されました。音楽室で披露された「シーパーマリオ清塚バージョン」清塚氏ならではのアレンジ。初めて知ったヴァイオリンの弦のヒミツ。楽しい授業でした。



■復興ピアノ

石巻の楽器専門店サルコヤを訪問したのは、雨が本降りになった11時。井上晃雄社長がお二人に再生したグランドピアノを見せて下さいました。全国各地からたくさんの調律師の方々が訪れ、泥をかぶったピアノの修復作業に参加下さったそうです。清塚氏が再生ピアノを弾いた感想を「とても柔らかくて、いい音がします」と仰ってました。



■学校訪問コンサート2 11月12日（月）12:45 宮城県立石巻好文館高校体育館

宮城県立石巻好文館高校（旧石巻女子高校）で12:45から始まったランチタイムコンサート。

翌日にリサイタルを控えた清塚氏は夕方には新幹線で東京に戻らなければならず、文字通りお昼のお弁当の時間と重なってしまいましたが、集まって下さった生徒さんは静かにヴァイオリンとピアノの音色に耳を傾けていました。音楽大学に進学希望の生徒さんが清塚氏の丁寧なアドバイスを熱心に聴いていた姿が印象的でした。二つの楽器から奏でられる音が広い体育館に響き、吸い込まれて行きました。



お二人のアーティストは震災当時、避難所になっていた各会場で、当時に想いを馳せながら、二日間に亘る過密スケジュールをこなして下さいました。被災地への鎮魂と復興を願っての熱い想いの溢れた演奏であった事をご報告します。

大街道小学校では、仮設住宅に住んでいらっしゃる方々も大勢聴きにいらして下さい、「名前の通り、元気をもらった！」と言っていただき、嬉しく思いました。

（報告 新谷泰子）